

令和3年度 地域振興推進費事業総括表

整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
2	C	職員防災研修会	行政職員が、災害について理解を深め防災意識の向上を図るため、土砂災害をメインテーマとした県・町村職員対象の防災研修会を実施しました。	R3. 9 ～ R3. 12	
4	C	まつもと空港発ドライブパスポート	広域周遊観光促進のためにまつもと空港利用のレンタカー使用者に対し、ドライブパスポート(優待券付)を配布しましたが、コロナウィルスの影響で配布を停止せざるをえなくなり成果が上がりませんでした。 (松本、諏訪、北アルプスとの4局連携事業) ※執行管理は松本地域振興局が担当	R3. 7 ～ R4. 1	
6	C	ふるさとの思い出品造成事業	木祖小学校6年生が、地元企業の製造するキャンパスを使用して卒業記念品を製作し、卒業の大切な思い出とともに、地元企業を知ってもらうよい機会となりました。	R3. 8 ～ R4. 3	
8	C	木曾路眺望・景観整備事業	眺望景観整備関係団体の実施した取組を紹介するリーフレットを作成し、地区ごとの回覧により木曾地域住民に紹介するなど、景観の維持・増進を図りました。	R3. 4 ～ R4. 3	
10	C	3地域連携広域観光推進事業	広域観光促進のために、地域のDMOと協働し、3地域の観光資源に対する現地調査、検討会を実施し、旅行会社の商品造成、モニターツアーの催行等を実施しました。 一方で、観光業関係者やメディア関係者の招聘は目標に達しませんでした。 (上伊那、南信州との3局連携事業) ※執行管理は上伊那地域振興局が担当	R3. 8 ～ R4. 3	
12	C	社会的起業支援事業	女性や若者を中心に新たな事業やサービス等をはじめようと考えている人を対象に、起業マインドを高めるための専門家による研修会や個別相談会を実施し、地域の活性化や地域課題の解決につながる起業を支援しました。	R3. 6 ～ R4. 3	
13	C	就業促進・働き方改革推進事業	木曾郡内の企業情報をまとめたガイドブックを作成し、地域の中高校生や保護者等に配布し、地域の企業や木曾で働くことについての関心を高め、また、ガイドブックを活用し高校生等への企業説明会を実施しました。 多様な勤務形態の導入等による働き方改革を促進するために事業者に対しても講演会を開催しました。	R3. 6 ～ R4. 3	
14	C	地域事業者消費喚起販路拡大事業	消費の喚起及び販路拡大を図り、地域事業者を支援するため、テイクアウトイベントや上松技術専門校の体験教室の実施し、また地域事業者(特産品等)の情報を冊子、メディア等で発信しました。	R3. 10 ～ R4. 3	
16	C	御嶽はくさい機械化推進事業	地域のブランド食材である御嶽はくさいの生産体制を維持するために、農家の労力軽減につながる「はくさい収穫機」の導入検討会を実施するとともに、収穫したはくさいを道の駅において加工・調理を行い観光客等消費者にPRしました。	R3. 7 ～ R3. 11	
17	C	木曾地域木材産業振興対策推進事業	木曾産の材の強みを検証・発信し需要拡大を図るため、木曾地域木材産業振興対策協議会を開催し、ロードマップに基づく取組の成果等の検討をしました。また、販路拡大のための基礎資料を得るため林業総合センターと共同でカラマツの強度試験を実施しました。	R3. 6 ～ R4. 3	
19	A	業務の電動機付き自転車使用転換	公用車での一部の出張を、今回購入した電動機付き自転車に替えることに伴い、ガソリン使用量の削減を図るなど有効活用を図るとともに、健康の増進にも寄与できました。一方、コロナ禍により人との接触を避けたため、打合せなど町村との連携が取れずブログ発信には至りませんでした。	R3. 5 ～ R4. 3	
20	C	木曾子牛の生産技術向上と消費拡大によるブランド力向上	地域ブランドである木曾牛の経営安定、後継者確保のために、小中学校生への給食での提供、牧場見学を実施しました。また、生産者向けに分娩事故に対する研修会を実施しましたが、参加予定者にシニア層が多く新型コロナ感染対策で参加人数を制限せざるを得ず、目標達成には至りませんでした。	R3. 10 ～ R4. 3	
21	C	木曾地域の特性を活かして2050ゼロカーボン達成しよう!	小学生高学年向けのエネルギーの地産地消やゼロカーボンを達成に向けた取組に関するパネルを作成し、学校への掲示等で活用してもらう予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校への貸し出しには結びつかず、役場などの2団体への貸出を行いました。	R3. 11 ～ R4. 3	
22	C	御嶽海大関昇進を契機とした「木曾地域がんばろう」宣言	地元出身の御嶽海関の大関昇進のタイミングを活かし、地域が一体となってコロナ禍に負けず強く明るい地域になるよう頑張っていくことを、郡内のほぼ全戸が加入しているケーブルテレビでのCMを配信放送することによりPRしました。	R4. 2 ～ R4. 3	